

# 大会宣言

本日、県内各地の会員諸氏とともに、ここ新潟市において「第55回新潟県身体障害者福祉大会」を開催することができました。

「共生社会」の実現に向け、私たちの長年の悲願でありました「障害者差別解消法」をはじめ、「手話言語条例」や「改正バリアフリー法」など、関係法令は着実に制定され、その理念の更なる醸成が期待される中、昨年行われた東京2020オリンピック・パラリンピックは、多様性の尊重を旗印に誰もが安心して暮らせる社会を目指す平和の祭典として開催され、心と環境のバリアフリーを前進させる大きな契機となりました。

一昨年春に発生した新型コロナウイルスは、私たちの生活に大きな影響を及ぼし、依然として終息の目処は立っていません。コロナ禍においてデジタル化が急速に進む一方で、障害による不利益が生じないようアクセシビリティ環境をしっかりと整備するためにも、私たちは障害者を取り巻く様々な課題を社会に発信し、理解と協力を求める活動を今後も継続しなければなりません。

高齢化が進展し、会員の減少が懸念される私たち障害者団体においては、より多くの仲間と共に活動し、福祉を前に進めて行かなければなりません。

今日の福祉が先人たちのたゆまぬ努力と、組織の団結力で積み上げられてきたものであることは言うまでもなく、福祉が「与えられるもの」ではなく、「共に作るもの」であること、そして、その成果は大切に後世に引き継がなければならないことを再確認し、地域を超え、年代を超えてさらに連帯と創造の輪を広げ、「新潟にしかない福祉」をみんなの力で作りあげるために、一致団結して行動することをここに誓い、宣言します。

- 一．多様な障害に対する理解を促進し、共生社会の実現をめざそう
- 一．デジタル化社会に取り残されないためのアクセシビリティ環境を整えよう
- 一．情報発信を強化し会員拡大と組織の活性化をめざそう

令和4年7月12日

第55回新潟県身体障害者福祉大会